

〈入試科目の見方〉

公募推薦入試のみ受験の場合は、各入試科目の「公募推薦」の欄についている◎が受験科目になります。また、公募推薦入試と給費生入試を同時出願する場合は「給費生」の欄の◎が受験科目になります。

吹奏楽コース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 期	一 般 後 期
1	主科実技課題 管・打楽器から1つの楽器を選択して演奏する 短期大学部「弦・管・打楽器コース」主科実技課題（楽器別）(P26～28)、もしくはそれと同程度の曲を演奏する。	※暗譜でなくてもよい。音階は必要ない。受験曲の演奏には伴奏をつけない。課題により、途中で演奏を止める場合がある。	◎	◎	◎	◎	◎
2	副科ピアノ 自由曲1曲	※繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。	◎	◎	◎	◎	◎
3	主科面接 志望理由書をもとにした個別面接		◎	◎	◎	◎	◎
4	AO面接	※AOの面接は主科面接の中で行う。	◎				
5	給費生作文 指定する作曲家のうち一人を選んでその伝記を読み、試験当日に課題作文を書く。(60分) 詳細は●ページに記載。	※伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。		◎			
6	給費生面接			◎			
7	一般科目 A. 本学で行う以下の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験(45分) (a) 英語(I・II) (b) 国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c) 数学I					◎	
	B. 以下の(1)または(2)のいずれかを選択する (1) 本学で行う以下の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験(45分) (a) 英語(I・II) (b) 国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c) 数学I (2) 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)～(f)の中から1教科1科目を選択 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語	※大学入試センター試験の成績を利用する場合、「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					◎

- ピアノコース
- 電子オルガンコース
- 弦管打楽器コース
- 吹奏楽コース**
- 声楽コース
- 合唱指導者コース
- 音楽芸術コース
- デジタルミュージックコース
- ポピュラー音楽コース
- バリエーションコース